



2021年4月9日

各位

会社名 株式会社WACUL
代表者名 代表取締役社長 大淵 亮平
(コード番号：4173 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 コーポレート本部長 竹本 祐也
(TEL 03-5244-5535)

繰延税金資産の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2021年2月期（2020年3月1日～2021年2月28日）において、下記の通り、繰延税金資産を計上する見込みとなりましたので、お知らせします。

また、2021年2月19日に公表した「東京証券取引所マザーズへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」において開示いたしました2021年2月期の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 繰延税金資産の計上

当社は、2021年2月期及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、2021年2月期において、繰延税金資産38百万円を計上することとしました。これにより、2021年2月期において、法人税等調整額（△は利益）を△38百万円計上する見込みです。

2. 業績予想の修正

2021年2月期（通期）の業績予想の修正（2020年3月1日～2021年2月28日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表した予想(A)	708	67	47	38	5円70銭
今回修正予想(B)	712	71	56	83	12円31銭
増減額(B-A)	4	4	9	44	
増減率(%)	0.6	6.1	19.8	115.9	
(ご参考) 前期実績 ※2020年2月期	485	▲140	▲141	▲142	▲20円91銭

3. 修正の理由

1月8日に2度目となる緊急事態宣言が発令され、より一段と感染拡大の懸念が高まりましたが、マーケティングのDX（デジタルトランスフォーメーション）への機運の高まりは継続し、当社の属する市場は堅調に推移しました。そのため、売上高及び営業利益については堅調に推移しており当初計画を上回る見込みです。経常利益については、上場関連費用が当初業績予想を下回ったことを主因として上回る見込みです。また、当期純利益につきましては、「1. 繰延税金資産の計上」の記載のとおり法人税等調整額を

計上すること等により、前回予想値を上回る見込みとなりました。

(注) 本資料に記載される業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上